

口は健康のもと Vol.77

遺伝で歯は親に似る

病院の廊下に二枚の前歯の写真を並べて展示していたときのことです。「ほら、似ているよ」と小学校に入る前ぐらいの女の子が母親に指さしていました。

思いもよらないところを見ているものだと感心させられました。自分の背丈の倍以上の高さにある写真に気がついたのです。

もう一つ驚かされたのは、2枚の写真の歯並びの特徴が似ていることを指摘した点です。親と子の写真は歯の形がそっくりで前歯が全く同じように乱杭になっていました。残念ながら、母親は興味がなかったようでした。

このお母さんは、親に似るという遺伝の法則性に気がついたわが子を褒め、意味を説明してあげればよかったと思いました。歯は親の遺伝的な特徴を受け継ぎ大きさや形が似るのです。

歯の幅が大きかったり、切歯の形が三角形の形だったりすると、歯列は前歯のところで彎曲しているので、大きな歯はそこには納まりません。いわゆる叢生（そうせい）という日本人で最も多い不正咬合となります。

現在はデジタルカメラで写真を撮って手軽に印刷することができます。家族が揃ったときに孫の前歯の写真を写して、恥ずかしがらずにみんなで見比べてみたらいかがでしょう。歯が似ていたら、家族の絆がさらに深まるに違いありません。



奥羽大学歯学部附属病院
矯正歯科 教授 氷室 利彦

